

様

病名 心房粗動・心房頻拍

症状

年 月 日

入院病日経過	入院～治療前日	治療当日	治療後1日目	退院日	退 院 療 養 計 画 書
月 日	/	/	/	/	退 院 日 (予定)
目標	心筋症灼術について理解ができる	不安や痛みを表出し安静を守る事ができる	合併症が起きず日常生活の知識を身につけ退院できる		月 日
指導・説明	・主治医より説明があります。(ご家族と一緒に) ・麻酔科医師の訪問があります。 ・病棟看護師、集中治療室の看護師より説明があります。 ・希望時、栄養士より食事指導を受けられます。 《準備するもの》 ・オムツ 1枚、ストロー又はストロー付きコップ 特別な栄養管理の必要性 有 ・ 無 ・塩分やカロリーが制限された食事になります。 ・経食道心エコー検査の為、昼食は禁止です。  	《治療前》 ・治療前1食は禁食、治療後1食はおにぎりになります。 ・禁食時の薬は少量の水で飲んで下さい。 ・医師の指示で糖尿病薬とインスリン注射、抗凝固薬が止まる場合があります。 ・血圧、脈拍、体温を測定します。 ・点滴を開始し、尿管を入れます。 ・穿刺部(両足の付け根)を除毛し、前貼りをします。 ・動脈触知部位(足の甲)に印を付けます ・弾性ストッキングをはきます。 ・寝衣は全て脱ぎ長寝巻をかけていきます。 ・貴金属、入れ歯等、身につけているものをすべて外して下さい。 ・1階の血管造影室へベッドで行きます。  	・40歳以上の方は、別紙《総合機能評価表》を用いて総合的機能評価を行う場合があります。 	・退院後の日常生活や再診日に看護師から説明があります。 	退院後の治療計画
					☐ 当院当科外来で通院治療を行います。 ☐ 他院 ()で通院治療を続けます。 ☐ その他
食事			・制限食が続きます。  		退院後の療養上の留意点
点滴注射内服薬	・内服薬やインスリン注射、お薬手帳を持参し看護師に渡してください。 ・医師の指示で中止になる薬もあります。 ・点滴の針を入れ当日に備えます。		・医師の指示で、内服薬の調節が行われることもあります。 ・薬剤師より内服薬の説明があります。  		・規則正しい通院 ・塩分制限 ☐ その他
					保健医療サービス又は福祉サービス
検査活動処置	・心電図の機械を付けます。 ・血圧・脈拍・体温・体重測定を行います。 ・入浴は可能です。 ・原則、病院内を自由に歩けます。 ・弾性ストッキングのサイズを合わせます。 ・状況に応じて経食道心エコー検査があります。  	● 治療中・治療後の安静中に胸部症状が ましたらすぐに知らせて下さい。 《治療後》 ・血圧、脈拍、体温を測定し、心電図検査を行います。 ・帰室後3時間は絶対安静、その後は朝までベット上 出血を防ぐためにとても大切です。 ・穿刺部は出血を防ぐためベルトで圧迫されています。 ・医師の指示で抗凝固薬を再開します。 ・医師より治療結果の説明があります。(ご家族も)	・朝、心電図と採血をとります。 ・レントゲン撮影があります。 ・穿刺部は医師の診察後ベルトを除 ・弾性ストッキングを除去します。 ・入浴はできないので、体を拭きます。 ・尿管を抜き、病棟内を自由に歩く ことができます。 ・穿刺部の痛みや胸部症状が ありましたら、看護師に伝えて下さ ・概算は退院前日にお知らせします (※場合によっては概算できないこと あります。)	・穿刺部の抜糸を行います。 ・穿刺部を覆ったまま、 シャワー浴が可能になります。 (入浴は退院後3日目より可能に なります。) ・心電図の機械を取り、病 自由に歩くことができます。 ・退院当日に外来棟1階⑤お支払 (退院精算)で精算して下さい。 (休診日の場合は入院棟1階、 救急外来受付になります。) ※場合によっては後日清算となる あります。	・特にありません
					その他

(主治医)

印

旭川赤十字病院 6階みなみ入院フロア

(主治医署名)

※主治医の押印がある場合は不要

主治医以外の担当者

(看護師)

(薬剤師)

(栄養士)